八戸市健康福祉審議会　平成23年度第１回社会福祉部会

日時：平成23年10月21日（金）14:00～

場所：八戸市庁 別館７階 会議室

司　会　　本日は、お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。定刻となりましたので、只今から八戸市健康福祉審議会平成２３年度第１回社会福祉部会を開催いたします。

私、本日の司会を務めさせていただきます、福祉政策課の三浦と申します。どうぞよろしくお願いたします。

まず、会議に入ります前に、出席状況をお知らせいたします。本日は、古舘副部会長、中村和貴子委員、熊谷満美子委員が欠席となっており、関川委員が若干遅れておるようです。６名の委員が出席となっており、半数以上の出席でございますので、本会規則第４条第２項及び第５条第１０項により会議が成立しております。

４月の人事異動により事務局職員が変わっておりますので、紹介いたします。福祉政策課長の長久保でございます。

課　長　　長久保でございます。よろしくお願いいたします。

司　会　　続きまして、本日の資料を確認させていただきます。事前に送付しておりました資料といたしましては、本日の次第、資料「八戸市地域福祉計画平成22年度実績報告（案）」でございます。不足はございませんでしょうか。

司　会　　それでは、只今より会議に移ります。坂本部会長にご挨拶を頂戴し、引き続き議事進行をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

部会長　　みなさまにおかれましては、大変お忙しい中お集まりくださいましてありがとうございます。

本日は社会福祉部会第１回目でございます。すでに資料をご覧いただいておられると思いますが、地域福祉計画を地域に合ったように作るというように決められており、第１期計画をたてたわけでございます。２３年度からは第２期計画が始まっておりますが、今日は第１期計画の最終年度として、平成２２年度の進捗状況を事務局から報告していただいた上で、ご質問や第２期計画に向けてのご意見を委員のみなさまより頂戴したいと思います。よろしくお願いいたします。

［議事］

部会長　　それでは、議事に入らせていただきます。「八戸市地域福祉計画　平成22年度実績状況」について説明していただきます。事務局から説明お願いします。

担　当　　では、私からの方から 八戸市地域福祉計画 平成22年度実績状況 についてご説明させていただきます。

始めに、委員のみなさまには、昨年度は、虐待等防止条例とともに、第２期の地域福祉計画

の策定にご協力をいただきまして、大変ありがとうございました。おかげさまで、今年度より無事にスタートさせることができました。これまでと同様に、理念の実現に向け、施策や推進事業が効果的に展開されるよう取り組んでまいりたいと思っておりますので、引き続きご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

さて、今回お示しておりますのが、昨年度平成22年度の実施状況報告（案）ということでございますが、この計画は、第１期計画は平成18年度から平成22年度までとなっており、本日は第１期計画の最終年度の実施状況報告ということになります。

近年の、加速する少子高齢化、家族形態の変化、地域住民のつながりの希薄化などによる、福祉を取り巻く環境が大きく変化する中、地域住民が協働し、すべての市民が、住み慣れた地域で安心して自立して豊かな生活を送ることができる社会の実現を目指し、その指針となるのが、この「八戸市地域福祉計画」です。

この計画では、計画を実効性のあるものとして推進していくため、地域住民、事業者、関係機関、行政による進捗管理機関を設置し、管理、評価を行うこととしており、市担当部局とともに、この八戸市健康福祉審議会社会福祉部会が行っていきます。

それでは、「八戸市地域福祉計画　平成22年度実績報告（案）」をご覧ください。

開きまして２ページをご覧ください。計画を推進する上での基本理念というものを２つ掲げております。ひとつは、市民一人ひとりが心豊かで、互いに尊重される、「福祉文化の高いまち」を目指します。もうひとつは、「ふれあい、支えあい、育てあい」により、共に生きる地域社会を目指します。です。この基本理念のもと、基本目標を４つ掲げております。その基本目標には、基本目標を達成するべく施策を３つないし５つ掲げています。これが地域福祉計画の施策の体系となっております。また、その施策にはそれぞれ市でのいろいろな事業がぶら下がっており、そちらの説明については次のページからになります。

３ページをお開き願います。全事業紹介いたしますとお時間がかかるものですから、かいつまんで主だったものを紹介させていただきます。まず３ページ目でございますけども、基本目標の１「住み慣れた地域での自立した生活を送るための福祉制度の充実」の総括としましては、推進事業16事業すべての事業を実施しており、ほぼ順調に施策を推進していると考えられ、以下施策の（1）から（5）までの評価をご覧のとおり記載しております。

次に４ページ目でございますけれども、基本目標１の１つ目の施策、「福祉サービスの利用支援」を掲げております。第三者による福祉サービス事業の評価制度の導入など、５つ全ての事業を実施しており、これからも利用者の視点に立ち、様々なニーズに対応できるようにこれらの事業を継続していく必要があります。

めくりまして６ページに進みます。２番目の施策として「保健、医療、福祉等の連携による総合的な対応」という施策を掲げております。ここにおきましては、１番目、２番目の事業とも実施しているということでございますが、八戸市虐待対策ネットワーク会議による公開講座が東日本大震災の影響によりやむを得ず中止となっております。今後も、各組織を活用した分野間の連携強化に努める必要があります。

めくりまして７ページでございます。３つ目の施策として「相談支援体制の充実」という施策を掲げております。この中の２番目、「各種相談員の連携」というものがございます。これまでも各種相談員間で自主的に連携している事例がみられましたけれども、平成21年度末に虐待や引きこもりに関する相談について関係機関の連携強化に向けたマニュアルが作成されたことによりまして、平成21年度までは検討中の事業でしたけれども、平成22年度は実施という表記になっております。

続きまして８ページは、４つ目の施策として「情報提供体制の充実」というものを掲げております。ここにおきましては、１番目、２番目の事業とも確実に実施しており、情報提供体制の整備に努めているということでございます。

では９ページをお開き願います。基本目標１の５つ目の施策として「高齢者や障がい者の自立への社会活動支援」というものを掲げております。３つの事業とも実施しておりますが、その中の１番目の事業で、「高齢者ほっとサロン事業」というものがございますが、地区数は目標にわずかに達しなかったものの、サロン数は着実に増え続けており、高齢者が参加できる機会を多く設けるよう努めているということでございます。

以上が基本目標１の実施状況でございました。

続きまして、11ページに進みます。基本目標２「地域住民等の参加や支え合いによる地域福祉づくり」に移ります。総括といたしましては、推進事業22事業を全て実施しており、順調に施策を推進していると考えられます。以下、施策の（1）から（5）までについては、ご覧のとおりの評価となっております。

次の12ページには、施策の１つ目として「子育て支援など福祉活動への地域住民の参画」を掲げております。この中の１番目の事業といたしまして、「ほのぼのコミュニティ推進事業」というものがございます。平成22年度は22地区で実施しておりまして、この事業も継続して実施しているという状況でございます。

それから13ページの４番目「ファミリーサポートセンター運営事業」についてでございます。この事業は平成18年度から運営しておりまして、平成22年度の登録会員も増えている状況でございます。継続して実施している状況でございます。

次の14ページは、施策の２つ目として「地域福祉活動の拠点整備」を掲げております。ここの施策につきましては、全ての事業を継続して実施している状況でございます。

続きまして16ページに移らせていただきます。基本目標２の３つ目の施策「ＮＰＯ、ボランティア等への活動支援」を掲げております。この中では１番目の「地域福祉ボランティア活動促進事業」については、先ほど説明しました「ほのぼのコミュニティ推進事業」と連携している事業でございまして、ほのぼの交流員に対するボランティア活動保険の費用を助成する事業でございまして、継続して実施しているという状況でございます。

それから、２つ目の「市民サポートセンター運営事業」につきましては、平成22年度の登録団体184団体ございますけれども、主な特徴といたしましては、保健・医療の活動団体が最も多く、２番目としましては、学術・文化・芸術・スポーツの振興を図る活動団体、３番目にま

ちづくりの推進を図る活動団体、というような形で登録数が多い順となっておるようです。

それから18ページにとびまして、４つ目の施策といたしましては、「地域福祉を担う団体等の育成、支援」というものでございます。ここの施策につきましても、１番目の「福祉サービス事業者の育成及び連携」ほか全事業とも継続して実施している状況でございます。

続きまして20ページに移りまして、５つ目の施策として「男女共同参画の推進」というものを掲げております。２番目の事業「はちのへ女性まちづくり塾の開催」でございますけれども、これは女性を対象として実施しておりました事業ですが、平成20年度から男女の区別なく受講できる「人材育成事業」として事業を変更して実施いたしました。そして、さらに22年度におきましては、この「人材育成事業」を見直し、「女性チャレンジ講座の開催」ということで、以前に戻ったような事業に見直しされ実施いたしました。

以上が基本目標２の実施状況でございました。

続きまして22ページの基本目標の３「安全で、安心して、誰もが快適に暮らせる地域づくり」でございます。総括といたしましては、推進事業20事業を全て実施しておりまして、順調に施策を推進している、以下施策の（１）から（４）まではご覧の評価内容となっております。

次の23ページをお開きください。１つ目の施策として「バリアフリー化やユニバーサルデザインによるまちづくり」というものを掲げておりまして、この中の１番目の事業「人にやさしい福祉のまちづくりの推進」というものでございますが、平成22年度は、新採用の市職員に対しての、高齢者等の疑似体験を内容としたバリアフリー研修会を実施したほか、22年度からの初の試みで、9月下旬に市庁前広場で行われた「八戸市ボランティアフェスティバル」におきましても、高齢者疑似体験や車椅子操作体験コーナーを設置いたしました。

次の24ページは、施策の２つ目として「移動手段の確保」を掲げております。ここの推進事業につきましては、「南郷コミュニティバス運行事業」以下全事業継続して実施している状況でございます。

ページ飛びまして26ページへ参ります。３つ目の施策として「地域の防災、防犯対策の充実」を掲げております。この中の１番目の事業「災害時要援護者支援事業」につきまして、平成22年度末時点で災害時要援護者登録名簿に登録された方は、3,627名でございます。先日、事業者を対象とした福祉避難所についての説明会を行いましたが、今後は、福祉避難所の指定に関する協定の締結に向け、要援護者の個別避難の支援体制の強化を図りながら、支援体制の充実に努めることとして、事業は継続の状況となっているものでございます。

続きまして29ページになります。４つ目の施策として「地域医療の連携推進」を掲げております。ここの施策につきましては、「救急医療体制の確保」以下全事業継続して実施している状況でございます。

以上が基本目標３の実施状況となっておりました。

続きましては基本目標４「福祉の心づくり」についてでございます。総括といたしましては、推進事業11事業を全て実施しておりまして、順調に施策を推進しています。以下、施策の（１）（２）（３）につきましてはご覧のとおりとなっております。

めくりまして31ページとなります。１つ目の施策として「青少年への福祉教育の推進」を掲げております。こちらの事業につきましては、３つ全ての事業が重点事業となっておりますが、全ての事業を実施しており、青少年の福祉教育の推進が図られている状況でございます。

次の32ページには、施策の二つ目として「生涯学習などによる福祉意識の醸成」を掲げております。ここにつきましては、１番目に「福祉意識の醸成のための出前講座の実施」というものを掲げております。市内の小中高及び各種団体から、八戸市社会福祉協議会や八戸市社会教育指導員への依頼により、出前講座を実施している状況でございます。

34ページに参ります。３つ目の施策として「世代間交流の促進」を掲げております。ここの施策の「保育所地域活動事業」の他、全事業継続して事業を実施している状況でございます。

35、36ページにおきましては、先ほどの説明の中に含まれておりました、事業内容の変更の部分が記載されております。

以上が簡単ではございますが、平成22年度の実績報告（案）の説明でございました。この実績報告につきましては、委員のみなさまにご了承をいただきましてから、市のホームページにおいて公開したいと考えております。

冒頭でも申し上げましたが、この平成22年度の実績報告をもちまして、第１期計画の最終報告ということになります。平成18年度からのスタート以来、大きな問題点等もなく、より効果的に計画を推進するため、推進事業を若干見直しながら、すべての事業を実施し、順調に施策を推進してきたと思っております。

第２期計画が始まっておりますが、第１期計画同様、理念の実現に向け、施策や推進事業が効果的に展開されるよう取り組んでまいりたいと思っております。

以上で報告を終わります。

部会長　　ありがとうございました。事務局より平成２２年度の進捗状況について説明がありましたが、すべての事業について実施し、施策を順調に推進してきたということでございました。委員のみなさまから、何かご質問等ございませんか。

中村委員　　第２期計画のことになるのですが、今年度設置予定の「虐待等防止対策会議」は、今現在どのような準備状況でしょうか。

課　長　　現在ようやく会議の構想がまとまりまして、委員の選任について各関係機関に打診して、同意を得られれば、委員の就任依頼を出すというところまできており、やっと形が見えてきた状態でございます。年内中には第１回目の会議を開きたいと考えております。

中村委員　　今年度より「八戸市虐待等防止条例」が施行されたわけですが、相談件数等何か変化がみられたものはありますか。

課　長　　個々の相談件数については、高齢者であれば高齢福祉課、障がい者であれば障がい福祉課でというように、各担当部署の方で把握はしておりますが、こちらでは把握していない状況です。また、目に見えた変化というのも具体的にはまだないと思います。

部会長　　ほかにございませんか。

部会長　　特段ご質問、ご意見がないようですね。平成２２年度の実施状況につきましては、この部会での審議を経て、市のホームページに掲載するということになります。当部会といたしましては、平成２２年度の実施状況及び第１期計画の総括といたしまして、これまで若干の事業を見直しを行いながら、推進事業をすべて実施し、順調に施策を推進してきたと思われます。今年度からは第２期計画も始まっておりますが、さきほどの虐待等防止会議等の件も含め、各事業が順調に行われるよう努めていただき、確実に計画を推進してもらいたいと思います。部会の意見としては、みなさまこのようなことでよろしいでしょうか。

部会長　　それでは、これをもちまして本日の議事を終了させていただきます。どうもごくろうさまでした。

司　会　　これにて八戸市健康福祉審議会第１回社会福祉部会を終了させていただきます。大変どうもお疲れ様でした。